

2022年度 つむぎ 生田ルーム 職員アンケート改善策報告

いつもつむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長またはスタッフにお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2	入口や支援室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、子どもが活動するにあたり安全な環境であるか。	4.3	利用者様に気持ちよく過ごしていただけるよう、またお子さまが安全に活動できるよう、今後もルーム内を清潔に保ち、整理整頓に努めてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	4.0	お子さまの発達や様子に応じて職員を配置してまいります。また、専門性を高めるよう、スタッフの勉強会を行ってまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.6	適切に休憩をとり、利用者様に笑顔で元気に接してまいります。
	Q5	ルーム内の環境や支援員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		集団支援ではありますが、充実した個別的な関わりが出来ますよう、人員配置に努めてまいります。また、ほっとできる緑豊かな室内環境を整えてまいります。
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.4	日頃の業務の振り返りを都度行い、スタッフ全員で業務改善に努めてまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	3.4	今後、保護者様に適宜アンケートなどを行い、保護者様のご意向を踏まえた勉強会などを企画してまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	3.4	2023年1月4日以降にルーム内の掲示及びホームページに公開を予定しております。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.4	第三者評価は未実施ですが、内部監査を年に2回実施しており、法人のガイドラインに則った正しい運営を心掛けております。内部監査の結果を踏まえ、業務改善に努めてまいります。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	4.2	法人内では職員の資質向上のための研修の機会を多く用意しております。また、ルーム内においても月1回程度のスタッフ勉強会を行っております。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		都度、PDCAサイクルを行い、スタッフ全員の意見が反映された業務改善に努めてまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.4	お子さまの適応行動の状況を図るため、発達に関する書籍やアセスメントツールなどを活用してまいります。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	4.2	保護者様のご希望や日頃のお子さまの様子を伺い、またつむぎでの様子を鑑み、スタッフ間で分析したうえで個別支援計画書の作成に努めてまいります。
	Q14	グループ活動や個別支援のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.2	個別支援計画書の目標や当月及び当日の目標など、お子さまの見た目姿をスタッフで共有しながら支援に努めてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.4	お子さまの好きなもの(こと)や得意なこと(もの)などを適宜確認しながら、また季節柄を鑑み、活動プログラムを用意してまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.3	支援前はスタッフ間で打ち合わせを行っております。内容の確認、役割分担、配慮事項などを共有して、適切な支援の提供に努めてまいります。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.6	支援終了後はスタッフ間で振り返りを行っております。次回の支援に繋がるよう、スタッフ間のより豊かな共有に努めてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	4.3	日々の支援終了後には振り返りを行い、記録をしております。記録をもとに、支援の検証や改善に努めてまいります。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明がきているか。	3.4	個別支援計画書は6カ月以内に次期個別支援計画書の説明をしております。その際、保護者様にモニタリングを行っております。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	3.8	お子さまの主体性を大切にしながら、身体活動、戸外活動、畑仕事、調理活動、表現活動、地域交流活動などを複数組み合わせる支援内容をご用意しております。
	Q21	適切な支援の提供について、ご意見をお聞かせください。		お子さま一人一人の発達を理解し、お子さまの主体性を大切にしながら、生活の延長線上での支援を行ってまいります。
保護者と関係連携について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3.8	支援終了後は、保護者様と一緒に振り返りを行っております。短い時間ではありますが、その際に保護者様からお子さまの様子など伺い、共通理解を深めてまいります。
	Q23	所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	3.8	保護者様のご希望のもと、所属園(校)と連携を行っております。連携のサービスを保護者に伝えるとともに、所属園(校)との相互理解に努めてまいります。
	Q24	児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	3.8	現在、「豊かな地域療育を考える会」に毎月参加しております。事業所同士で情報共有などに努め、今後とも地域に根ざした事業所を目指してまいります。
	Q25	児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.8	つむぎ生田ルームは児童発達支援と放課後等デイサービスの多機能型事業所でございます。当事業所内で移行する場合はスタッフ間で情報を共有してまいります。

保護者と関係機関連携について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.4	川崎北部療育センター及び川崎西部教育センターと適宜連絡を取っております。今後も両療育センターから助言を受け連携を深めてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	4.0	「豊かな地域療育を考える会」や社会福祉協議会などに参加しております。今後とも地域連携を深めるため、積極的な参加に努めてまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	3.6	読売ランド前どろんこ保育園との連携を深め、インクルーシブな環境のもとでの支援提供に努めてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.7	現在、地域の方々に「マサラチャイとクッキーを作って食べよう」、生田緑地での青空保育をそれぞれ月1回行っております。
	Q30	保護者の子どもへの理解力・対応力の向上を図る観点から、保護者の状況に合わせた適切な支援を行っているか。	4.2	支援終了後に保護者様とお話する時間を設けております。必要に応じて事業所内相談を行っております。ぜひ、ご活用ください。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		今後とも関係機関や保護者様とお話する時間を設け、より豊かな連携に努めてまいります。今後ともよろしく願います。
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.1	ご利用前の契約時に重要事項、契約内容、支援に関してなどのご説明をしておりますが、ご不明な点等ございましたら、いつでもお声かけください。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.2	保護者様からのご相談等は随時お受けしております。ご助言をさせていただくとともに、より豊かな子育てに向けて保護者様と一緒に考えてまいります。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.0	体験学習などを企画しております。今後も保護者様同士の連携ができる場をご用意してまいります。
	Q35	子どもや保護者からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	3.9	お子さまや保護者様からの苦情があった場合、真摯に受け止め、安心してご利用していただけるよう、スタッフで話し合い、改善に努めてまいります。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、子どもや保護者に対して情報を発信できているか。	4.2	SNSやルーム内掲示にてイベントなどの告知をしております。また、活動内容は月1回のブログやSNSで随時発信しております。ぜひご覧ください。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例:分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.0	お子さまの発達に見合った言葉がけ、また保護者様にご理解していただける言葉を使って意思疎通がされるよう努めてまいります。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.7	個人情報はキャビネットに保管しており、施錠をしております。利用者様の大切な情報を適切に管理してまいります。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.1	保護者様からのお話やお子さまの情報など、スタッフ間で随時共有しております。今後も共有の時間と場を確保して、スタッフ間の連携を深めてまいります。
	Q40	保護者や子どもへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		保護者様やお子さまの心情に寄り添い、笑顔あふれるあたたかな対応を心がけてまいります。今後ともよろしく願います。
非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.1	適宜、マニュアルを確認して、緊急時の対応が滞りなく行えるよう努めてまいります。
	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.3	毎月15日(変更の場合もあり)に避難訓練を行っております。また、不審者訓練や通報訓練、総合訓練も年2回行っております。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.9	虐待防止研修を適宜行っております。利用者様に対して適切な対応をするよう努めてまいります。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.8	毎日、ヒヤリハットの確認を行っております。ヒヤリハットを検証して利用者様に安全に過ごしていただけるよう、努めてまいります。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		非常時の際、利用者様の安全を第一に考え、日々の訓練に努めてまいります。
満足度について	Q46	子どもはつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.6	お子さまがつむぎでの時間を満足に感じるよう、お子さまの「楽しい」を積み重ねて参ります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、子どもの変化や成長を実感することがあるか。	4.3	お子さまの変化や成長を保護者様と一緒に感じながら、日々の支援に努めてまいります。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		保護者様が感じたことやご意見などありましたら、いつでもお声かけください。スタッフで話し合いを重ねながら改善に努めてまいります。